



キミのために!

君の大好きな人のために!

GAMAGORI YOUTH

# 蒲郡 若者議会

未来の蒲郡へボタンをつなげ

第3期 報告書







## 蒲郡若者議会って何！？

蒲郡の未来を担う若い世代の多くは、普段の生活のなかで蒲郡やまちづくりについて学ぶ機会がなく、まちづくりに興味・関心があったとしても、その想いを話し合ったり、まちや行政に届ける手段がないのが現状です。そのため、蒲郡の政治や行政に関心が薄く、まちづくりに参画する必要性を実感することが難しくなっています。

**蒲郡若者議会は、若者の目線で蒲郡をどのように良くしたいのかを考え、意見を出し合い、それを実行に移していく場であります！！**

2023年度の第3期では、合計16名の高校生、大学生が集まりました。また、第1期、第2期の蒲郡若者議会で活動した議員がメンターとして残り、引き続きまちづくりに尽力しました。

そして地域に対して「将来的に不足が予測されるまちづくりの担い手の確保」「若者を応援するまちとして、市内で共通認識を持ち、市外にも知っていただくことで若者に選ばれるまちを目指す」などを目的として蒲郡青年会議所や行政職員をはじめとした、多くの市民にご協力をいただいで活動してまいりました。

### 第3期蒲郡若者議会議長挨拶

第3期蒲郡若者議会は先日、各委員会が立案した政策をまとめた提言書を市長に提出することができました。提言の内容は若者議員らしい、革新的で、素晴らしいものになったと議員の皆をととても誇らしく思っています。この様な素晴らしい提言ができたのも大好きな蒲郡のために一緒に奮闘してくれた若者議員の仲間、実行委員会の皆様、サポートしてくださった市民の皆様のお陰です。本当にありがとうございました。

さらに、この様な機会が与えられたのは蒲郡が平和なまちだからだと思います。これからもこの平和に感謝する心を忘れず、若者議員の仲間、そして市民の皆様と共に蒲郡のまちづくりを盛り上げて行きたいと願っています。



第3期蒲郡若者議会 議長 村田愛実



## 委員会紹介

### スポーツ委員会

スポーツ委員会では、蒲郡市民の運動不足を解消するために、「ココカラ HOT - みんなでつながるまち蒲郡 -」というテーマを元に活動してきました。実行した施策として、体力年齢診断とアンケートを実施しました。このアンケート結果はこれからの「蒲郡総合運動サイトの設立」という施策に活用されます。このサイトは蒲郡市のスポーツイベントや、貸出可能施設などの空き状況などが一目でわかる総合的なサイトと考えています。  
(スポーツ委員会 副委員長 栗野ゆら)



防災減災委員会は、南海トラフ地震などの蒲郡市で発生する可能性のある災害に備え、避難訓練や必要物資を考え、「安全をつくれるまち蒲郡」を掲げて活動してきました。企画を考える際、ターゲットの親世代も巻き込めるように小学生が楽しめる企画を工夫しました。小委員会では災害を地震に絞り避難に必要な物などを過去の災害を参考に話し合いを深め企画を考えました。  
(防災・減災委員会 委員 金子竜大)

### 防災・減災委員会

### 情報発信委員会

情報発信委員会では、「好きをシェアしてつながるまち蒲郡」を理想の未来像に掲げて活動してきました。現在、蒲郡では、蒲郡市や蒲郡市観光協会などがまちの情報発信を行っていますが、観光資源の発信方法が限定的です。そこで、市内に点在する観光資源をつなぎ、目的地から目的地へ派生していくことのできる新しい情報発信を行う必要があると考えました。

楽しく参加してもらうための工夫を議論し、幅広く市内を満喫できる、「蒲郡ガチャ」の提言を行いました。

(情報発信委員会 副委員長 廣川千歳)



## 蒲郡若者議会の流れ

### 1 説明会

蒲郡若者議会では、まちの魅力や課題点など考える上で「蒲郡を知ろうという気持ちを常に持つこと」、「自分や自分が大好きな人が蒲郡に住みやすいと思ってくれる未来像を思い浮かべること」の2点を心構えとして政策内容を検討することを説明しました。また、今回は蒲郡市役所と協力して市から課題を7つ提案し、その中から若者議員が解決したい課題を選択し各委員会に分けられました。



### 2 全体会議

全若者議員が集まる全体会議では政策検討を中心に計15回を実施しました。第3期でも蒲郡市役所の職員の方も行政メンターとして加わっていただき、若者議員は市の現状を知りながら、若者の視点で蒲郡の理想の未来像に対して考案しました。また、各テーマに関わるまちのキーパーソンを積極的に呼んで、現場の声を聞く機会を設けました。



### 3 中間報告会

全体会議を重ね、各テーマにおける蒲郡の理想の未来像を思い描いて政策検討、全体会議で話がまとまらない時は、自主的に小委員会を開催して内容をまとめました。行政や政策内容に関係する方々をお呼びして初めて対外に向けて想いを発信し、政策内容の発表後は会場に集まった多くの方々との意見交流の場を設けました。





## 4 事業実施

中間報告会で発表した事業内容を具体化し、政策実現の第一歩となる企画を蒲郡青年会議所主催のまちづくり例会「まっち de シールラリー」にて実施しました。どの委員会も企画を成功させるために何度も打ち合わせを重ねて、色々な方と協力しながら自分たちで1から設営し当日を迎えました。自分たちで考えた政策が、まちのニーズに適しているのか等、多くの会場来場者と接する事で政策提言の説得力を高めました。



### 各委員会事業内容

#### スポーツ委員会

実際に握力測定、椅子から立ち座りの回数測定や、バスケットボールなどで運動を体験していただき、運動の楽しさを実感してもらいました。自分の結果と年齢別の平均を照らし合わせることで運動不足の自覚を持たせた方もいらっしゃると思います。そして、蒲郡スポーツ総合サイト作成に向けてのアンケートも実施しました。

(スポーツ委員会 委員 清原知南)



#### 防災・減災委員会

地震体験車ナマズ号をモチーフにした人カナマズ号の体験、30秒で机の上に乗っているものから防災リュックに入れた方がいいものを探し出すゲームの2種類を行いました。人カナマズ号は工事現場などで使われる足場を立て人力で揺らし地震を体験していただきました。アンケート調査も兼ねていたのでお答えいただいた方には非常食ライスクッキーのプレゼントや、親子連れを狙って体験していただいたお子様にメダルをプレゼントしたりなどの工夫もしました。

(防災・減災委員会 副議長 江藤妃佳里)



#### 情報発信委員会

「蒲郡ガチャ」を使って、すきをシェアする場にしました。カプセルに入れるミニブックを来場者に書いてもらい、蒲郡の好きなところを考えてもらうワークショップを行いました。同時にホワイトボードをつかって、つなげたい観光資源を聞きました。

(情報発信委員会 委員 中山湖乃美)



### まっち de シールラリー事業総評

第3期蒲郡若者議会は、まっちdeシールラリーに参加させていただきました。当日は、お子様連れの来場者が多く大変明るい雰囲気でした。防災・減災委員会では、動いて覚える一次避難と称し、地震体験や防災リュックの中身について学ぶことができるコーナーを設けました。地震体験では、建設用足場を用いて、人力で揺れを発生させる「人カナマズ号」を企画しました。これを体験した来場者の方からは、「地震の怖さが分かった」「人力で揺らすという発想がユニークで面白い」といった声をいただきました。防災リュックのコーナーでは、ゲーム形式にすることで、お子様でも楽しんで学ぶことができるようにしました。特に保護者の方がお子様に防災リュックの中身について教えている姿が印象的でした。私たちの活動が、少しでも市民の防災意識を高めるきっかけになれば幸いです。

防災・減災委員会 委員長 古賀慶大



## 5 最終報告会

事業実施で頂いた意見を各委員会で持ち帰り、最終報告会に向けて政策内容を精査してきました。3委員会の半年以上かけて積み上げたその成果を熱意持って発表し、政策内容の詳細、実施方法を観覧者へ説明しました。また、第1期、第2期若者議員のこの1年での活動も報告されました。

### 各委員会政策内容

ホームページ 政策シート

<https://gamawakagikai.com/01policy>



#### スポーツ委員会

### 「ココカラHOT運動でつながるまちがまごおり」

蒲郡市民のスポーツ活動を推進し運動不足の市民を減らすという政策を明確にし、スポーツをすることのメリットやスポーツを通してできる人との関わり、企画実施の報告やこれから進めていきたい事業について発表しました。

(スポーツ委員会 委員 片山音花)



#### 防災・減災委員会

### 「安全を作れるまち」

企画実施の際に行ったアンケートを利用し、【防災リュックのサブスク・避難訓練の改善】を提案しました。サブスクについてはアンケートで分かった問題「何を入れたらいいのかわからない」等の課題を解決し、避難訓練の改善については未来を生きる学生を対象にし今私達が問題だと感じることを上げ、東日本大震災の被災校釜石中学校で行われていた避難訓練を参考に行うのはいかがでしょうかと提案しました。

(防災・減災委員会 副議長 江藤妃佳里)



#### 情報発信委員会

### 「好きをシェアしてつながるまち蒲郡」

点在する市内の観光資源が連携する必要があると考え、蒲郡ガチャを提言しました。カプセルの中に観光情報紙や割引券を入れ、ランダムに新しい発見を提供します。市内にいくつも蒲郡ガチャを設置し、まちを巡りたくなるような仕組みを考えました。

(情報発信委員会 委員 永井梨紗)



### 最終報告会総評

これまでの活動の成果を市民の方々に発信し、企業や大人の方々の目線からコメントをいただける価値ある経験でした。私たちスポーツ委員会は、今までの発表や練習よりも、一人ひとりが自信をもって、最終報告会にふさわしい発表が出来ました。他の委員会もこれまでの活動内容や成果を市民の方々に伝えることが出来たのではないかと思います。また、第1期、第2期若者議会のメンバーの方々の活動内容の発表を聞き、今後の活動のイメージを浮かべやすくなりました。最終報告会を経て、自分たちの活動の振り返りと今後の活動のイメージが出来る、良い機会となりました。

(スポーツ委員会 委員長 遠山瑞希)

## 6 修了式

蒲郡市長へ第3期蒲郡若者議会政策提言書を村田議長から提出。また、この1年間蒲郡若者議会をやり切った若者議員に対し、第3期生としての修了証書授与、お世話になったメンターやともに走り抜けた仲間とメッセージ交換を行い、今後の社会、学校で活躍する未来への新たな一歩を踏み出しました。

## 7 来期に向けてメッセージ

第三期蒲郡若者議会副議長を務めさせて頂きました、蒲郡東高校二年江藤妃佳里です。私は、中学校の頃地震について三年間学んでいました。その事を活かし防災・減災委員会に所属させて頂いていました。一年を終え振り返ってみると上手くいかないことが多くありました。沢山悩み、沢山話し合い、沢山の時間を費やしました。学生である私にとっては初めての社会経験であり、一生の思い出になりました。どんな人生を選択し、歩むのは自分一人の自由だと思います。ですが、時に挑戦をしてみると今後の人生が変わるかもしれません。是非、悔いのないようにしてください！

第3期蒲郡若者議会 副議長 江藤妃佳里





## 第三期蒲郡若者議会若者議員修了者（五十音順）

江藤妃佳里（蒲郡東高校）、春日井陽菜（藤ノ花女子高校）、片山音花（蒲郡高校）、金子竜大（三谷水産高校）、清原知南（蒲郡高校）、栗野ゆら（蒲郡高校）、古賀慶大（豊橋工科高校）、瀬戸口晴（蒲郡東高校）、遠山瑞希（愛知大学）、永井梨紗（蒲郡東高校）、中山湖乃美（豊橋東高校）、廣川千歳（愛知淑徳大学）、牧野海都（蒲郡東高校）、牧野叶歩（蒲郡東高校）、松本有世（名古屋大学）、村田愛実（名古屋外国語大学）

## 蒲郡若者議会 協賛企業・団体



蒲郡若者議会の  
ホームページ  
紹介

**JCI** Junior Chamber International GAMAGORI  
一般社団法人 蒲郡青年会議所

**SUZUNAKA**

一生涯のパートナー

**第一生命**

地元とともに  
**蒲郡信用金庫**

**小池商事株式会社**

**株式会社 錦屋**

中日新聞蒲郡専売所  
株式会社 鈴木新聞舗

中日新聞蒲郡専売所  
株式会社 新鈴木新聞舗

act for japan  
**aidared**

**TAISEI 株式会社大成商会**

**NIDEK**



## 蒲郡若者議会 第四期生募集中

GAMAGORI YOUTH

- 蒲郡市に在住・在学・在勤のいずれか
- 15歳～29歳（中学生を除く）令和6年4月1日時点
- 蒲郡市が好きな方
- 蒲郡市を好きな「まち」にしたい方

**任期**

2024年4月～12月まで

**メリット**

現場体験などで  
蒲郡市のことを知ることができます

学校推薦や就職に  
有利になります

真剣に自分の考えを語れるようになるなど、  
若手社員教育や  
若手のリーダー研修にも役立ちます。

様々な世代と話す機会があり  
自分自身の成長に繋がります

**応募方法**

こちらの  
ホームページより



●お問い合わせ先 **蒲郡若者議会運営委員会**

令和5年度蒲郡市協働モデル事業

鈴木崇之 050-3698-7227 gamawakagikai@gmail.com FAX: 0533-68-6814